

令和4年度政府予算における
戦没者遺族処遇改善項目

1. 遺族年金等 (別表)	島、マリアナ諸島、ミヤンマー、インド、トラック諸島、マーシャル諸島、インドネシア、パラオ諸島、その他南方地域、旧ソ連地域
2. 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給	島、マリアナ諸島、ミヤンマー、インド、トラック諸島、マーシャル諸島、インドネシア、パラオ諸島、その他南方地域、旧ソ連地域
8 億2300万円	支給事務経費・支給対象件数 約85万人
3. 遺骨収集事業等の推進	・遺骨収集 (15地域) フイリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、マリアナ諸島、ミャンマー、インド、トラック諸島、マーシャル諸島、インドネシア、パラオ諸島、ギルバート諸島、樺太、沖縄、その他南方地域、旧ソ連地域
32 億7900万円	(1) 遺骨収集事業 25 億7300万円
(1) 遺骨収集事業	① 硫黄島における遺骨収集事業 14 億9900万円
25 億7300万円	② 海外等における遺骨収集事業 9 億1500万円
① 硫黄島における遺骨収集事業	【実施地域】
14 億9900万円	・現地調査及び埋葬地調査 (12地域) フイリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島
② 海外等における遺骨収集事業	(2) 海外公文書館の資料収集 1700万円
9 億1500万円	(3) 遺骨の鑑定 1 億5900万円
【実施地域】	(2) 慰霊巡拝等 4 億3000万円
・現地調査及び埋葬地調査 (12地域) フイリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島	① 政府主催慰霊巡拝 9900万円 【慰霊巡
(2) 海外公文書館の資料収集	1 億9700万円
1700万円	(2) 慰霊巡拝等 4 億3000万円
(3) 遺骨の鑑定	① 政府主催慰霊巡拝 9900万円 【慰霊巡

6 億5300万円
① 分析施設 (ラボ) 設立・鑑定実施
1 億6700万円
② 手掛かり情報がない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定
1 億2900万円
③ 鑑定技術の研究の研究・実用化検討、大学等機関の鑑定実施等
3 億5800万円
④ 遺骨・遺留品の伝達
3500万円 (うち、戦没者遺留品の返還に伴う調査一式の経費1500万円)
4. 戦没者慰霊事業等
6 億2700万円
① 全国戦没者追悼式挙行経費
1 億9700万円
(2) 慰霊巡拝等
4 億3000万円
① 政府主催慰霊巡拝
9900万円 【慰霊巡

公務扶助料等年額一覧表

種 類	令和4年4月より(月額)	対 象 遺 族
公 務 扶 助 料	1,966,800(163,900)	軍人(少佐まで同額)
特 例 扶 助 料	1,573,500(131,125)	軍人(少将まで同額)
扶 養 加 給	72,000	軍人
先順位遺族年金	1,966,800(163,900)	軍属、一部軍人
同 遺族給与金	1,966,800(163,900)	準軍属
同 特例遺族年金	1,573,500(131,120)	軍属・一部軍人
同 特例遺族給与金	1,573,500(131,120)	準軍属
後順位遺族年金	72,000	軍属、一部軍人
同 特例遺族給与金	56,400	準軍属
他に公扶受給の者	193,200	軍人
特 設 年 金	456,400	軍人、軍属、準軍属
特 例 特 設 年 金	335,000	同 上

(注) 上記の年額表は、日本遺族会事務局による試算で、多少異動することもあるので、ご了承下さい。

等 (2カ所) 5300
② 政府建立慰霊碑の補修
③ 海外・国内民間慰霊碑の管理 1900万円
④ 慰霊友好親善事業 2
6000円
万 (補修調査、補修工
事、旧ソ連・ハバロフス
ク地方)
③ 海外・国内民間慰霊碑
の管理 1900万円
(海外民間建立慰霊碑1
000万円、国内民間建
立慰霊碑900万円)
6. 戦没者遺族相談員の
謝金
一人当たり年額・2万
億5900万円 (広域地
域・14地域792人、特
定地域・3地域108人)
5. 昭和館事業
4 億6100万円